

「広島県病害虫発生予察調査データ」

粘着板トラップ調査 ハナアザミウマの生態等

○発生の経過

- ・発生時期…5～10月
- ・発生好適条件…高温乾燥時に多発しやすい傾向があります。
- ・症状…温州ミカンでは、着色期に果実同士で接触する果皮表面への吸汁害が、レモンでは幼果期に赤道部を中心にかさぶた状の被害が生じます。

○被害を受ける作物

- ・カンキツ、ビワ、カキ、ブドウ、イチジク、チャ、花き類等に寄生します。

○トラップの活用

- ・園内に青色粘着トラップを設置し、7日間隔で誘殺数を調査すると発生状況を把握できます。
- ・カンキツ園では、6月下旬～7月上旬、9月にかけて急増しやすいので、発生状況に注意が必要です。

○写真



レモン幼果の被害



ハナアザミウマ雌成虫(体長約1.3mm)